

大学院 人文社会学研究科

1. 「修了認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

本研究科は、建学の精神である「和の精神」を大切にしながら、社会福祉の独自性・専門性を身につけ、精深な学識ならびに広い視野をもち専門的な業務に従事するに必要な研究能力を修得した福祉専門職、研究者、教育者となる人材を育成する。

博士前期課程

1) 基本的・体系的な研究能力を修得している。

仏教精神に基づいた自立と共生についての理解を深め、基本的・体系的な研究能力を修得している。

2) 社会福祉に関する高度な専門性を修得している。

社会福祉の各領域・分野における専門知識、問題解決能力、社会福祉実践能力などの高度な専門性を修得している。

3) 指導的役割を担う力を修得している。

社会福祉の実践の場において指導的役割を担い、スーパービジョンができる。

博士後期課程

1) 精深な学識と高度な研究能力を修得している。

仏教精神に基づいた自立と共生についての理解を深め、広い視野に立つ精深な学識と高度な研究能力を修得している。

2) 社会福祉に関する高度な専門性と研究を継続していく力を修得している。

社会福祉の各領域・分野における高度な専門性をもち、変化し続ける社会状況における様々な社会福祉問題の研究を継続していく力を修得している。

3) 明確な研究テーマと新たな知見を生み出す力を修得している。

明確な研究テーマを持ち続けることにより、先見のかつ実証的な社会福祉に関する新たな知見を継続して生み出していく力を修得している。

2. 「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

本研究科における「修了認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)で掲げた人材を養成するために、人間福祉をキーワードとし、各専門分野を体系的に網羅した授業科目を配置した教育課程編成をおこなっている。

博士前期課程

- 1) 社会福祉の理論と実践に関する高度な学識を養い、社会福祉における基礎的・体系的な研究能力を備えた研究者ならびに高度の専門性を有する社会福祉各領域の専門家及び指導者の養成を目的とした専門科目を配置している。
- 2) カリキュラムは「基礎理論分野」「政策・制度分野」「援助技術分野」の3分野を中心に編成し、それぞれに専門講義科目、専門演習科目、専門研究科目を開講している。

博士後期課程

- 1) 専門的な研究指導のもと博士前期課程における研究を深化させ、社会福祉の専門研究者として自立して継続的に研究する能力を養い、その学問的体系を構築しうる高度の見識と豊かな学識を具備する研究者・教育者ならびに高度の研究能力と指導力を持つ専門的人材養成を目的とした教育課程を編成している。
- 2) カリキュラムは「基礎理論分野」「政策・制度分野」「援助技術分野」の3分野を中心に編成し、それぞれに特殊研究科目、特殊演習科目、特殊講義科目を開講している。

3. 「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

本学の建学の精神と本研究科における育成する人材、「修了認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて、受け入れる入学者に次のような能力を求める。

博士前期課程

- 1) 人と人が切り離され孤立していきやすい現代社会において、本学の建学の精神である仏教精神、すなわち自己を知り他者を尊重する精神を持ち、それを実現できる人
- 2) 社会福祉の基礎知識と総合的な学力及び理論的・実践的に研究する能力を持ち、研究に対する真摯な姿勢を持ち、学究に努力する人
- 3) 少子高齢化、グローバル化の進展等により増大する生活課題に関する社会福祉の向上に対しての熱意を持ち、それを実現できる人

博士後期課程

- 1) 本学の建学の精神である仏教精神、すなわち自己を知り他者を尊重する精神を持ち、且つ研究に対する真摯な姿勢を持ち、学究に努力する人
- 2) 社会福祉領域に関する高度な専門知識と研究能力を身につけ、優れた研究を行うことができる人
- 3) 様々な社会問題・生活問題に対する知見を備え、その解決のために自ら問題点を発見し、それを解決する高い能力を持っている人

入試区分	入学者選抜方法	関心・意欲・態度	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性
大学院入試 博士前期課程	「小論文」「教科」「個人面談」「書類審査」	○	○	○	○	○
大学院入試 博士後期課程	「小論文」「教科」「個人面談」「書類審査」	○	○	○	○	○

- ◆ 「小論文」: 思考力・判断力、表現力
- ◆ 「個人面談」: 表現力、主体性・多様性

- ◆ 「教科」: 知識
- ◆ 「書類審査」: 関心・意欲・態度、協働性